

**製品名: FES マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80603**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

**抗原情報**

遺伝子名	FES
別名	FPS
遺伝子 ID	2242.0
SwissProt ID	P07332
免疫原	大腸菌で発現した FES (AA:613-822) の精製された組み換え断片。

**背景**

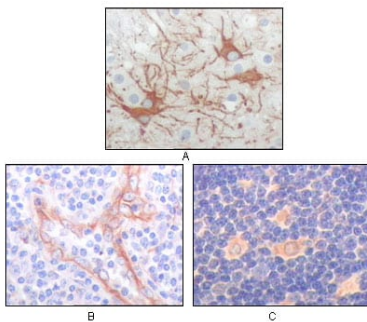
FES (ネコ肉腫癌遺伝子) と Fer は、細胞質タンパク質チロシンキナーゼという独特なファミリーに属する唯一の 2 つのメンバーです。FES と Fer は、中心に Src ホモロジー 2 (SH2) ドメインとカルボキシ末端にチロシンキナーゼ触媒ドメインを有しています。こ

れらは、アミノ末端に Fer/CIP4 ホモロジドメインとコイルドコイルドメインを有することで、他の細胞質タンパク質チロシンキナーゼサブファミリーのメンバーと構造的に区別されます。FES は、もともと鳥類およびネコ科のレトロウイルス由来の癌遺伝子として同定されました。ヒト c-Fes は、骨髄細胞、血管内皮細胞、および神経細胞の分化に関与していることが示唆されています。FES はチロシン特異的なタンパク質キナーゼ活性を有し、この活性は細胞形質転換の維持に不可欠です。変異は FES キナーゼを活性化し、ひいては癌化に寄与する可能性があります。しかし、最近のデータは、c-FES タンパク質チロシンキナーゼが大腸がんの主要ながん遺伝子ではなく、腫瘍抑制因子であることを強く示唆しています。

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト大脳腫瘍 (A)、血管内皮 (B)、胸腺リンパ球 (C) の免疫組織化学分析。DAB 染色による FES マウス mAb を使用した細胞質局在を示しています。